

授業科目	管理栄養士演習Ⅱ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年
担当教員	渡邊 和美、坂田 郁子、永原 真奈見、永田 純美						
授業概要	<p>管理栄養士養成科目のうち、専門分野科目を統合的に理解し、国家資格取得に必要十分な知識を養うために、次のような授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管理栄養士国家試験教科の各分野の出題傾向とポイントを解説する。</li> <li>2. 国家試験の出題問題を中心に、各教科ごとの問題をテストし、解答と解説を行う。</li> <li>3. 授業はオムニバス形式とする。</li> </ol>						
授業形態	対面授業			授業方法	講義形式		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	管理栄養士国家試験教科「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において「60%」の正解率を出せる能力を有する。(DP1-2, DP2-1, DP2-2)
理想的レベル	管理栄養士国家試験教科「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において「80%」の正解率を出せる能力を有する。(DP1-2, DP2-1, DP2-2)

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	100%	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 ○ DP3 - DP4 - DP5 - ナンパリング NT32705J

學習課題（予習・復習）

学習目標 (学習・復習)	学習時間 (時間)
予習：講義内容を予習をし、理解する。	1
復習：演習で解いた問題を整理し、理解する。	

授業計画

授業計画	
第1回	<p>【後半のオリエンテーション、臨床栄養学 1】</p> <p>管理栄養士国家試験における午後問題のガイドラインについて説明する。</p> <p>過去の国家試験等の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。</p> <p>担当：渡邊和美</p>
第2回	<p>【臨床栄養学 2】</p> <p>国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。</p> <p>担当：渡邊和美</p>

第 3 回	<p><b>【栄養教育論 1】</b>            国家試験過去問の「栄養教育論」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：永原真奈見</p>
第 4 回	<p><b>【栄養教育論 2】</b>            国家試験過去問の「栄養教育論」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：永原真奈見</p>
第 5 回	<p><b>【公衆栄養学 1】</b>            国家試験過去問の「公衆栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：坂田郁子</p>
第 6 回	<p><b>【公衆栄養学 2】（坂田郁子）</b>            国家試験過去問の「公衆栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：坂田郁子</p>
第 7 回	<p><b>【給食経営管理論 1】</b>            国家試験過去問の「給食経営管理論」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：永田純美</p>
第 8 回	<p><b>【給食経営管理論 2】</b>            国家試験過去問の「給食経営管理論」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：永田純美</p>
第 9 回	<p><b>【栄養教育論 3】</b>            国家試験過去問の「栄養教育論」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：永原真奈見</p>
第 10 回	<p><b>【栄養教育論 4】</b>            国家試験過去問の「栄養教育論」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：永原真奈見</p>
第 11 回	<p><b>【臨床栄養学 3】</b>            国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：渡邊和美</p>
第 12 回	<p><b>【臨床栄養学 4】</b>            国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：渡邊和美</p>
第 13 回	<p><b>【公衆栄養学 3】</b>            国家試験過去問の「公衆栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：坂田郁子</p>
第 14 回	<p><b>【公衆栄養学 4】</b>            国家試験過去問の「公衆栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。            担当：坂田郁子</p>

2025 年度

授業コード : 23107900

<b>第 15 回</b> 【給食経営管理論 3】 国家試験過去問の「給食経営管理論」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 永田純美
<b>第 16 回</b> 【臨床栄養学 5】 国家試験過去問の「栄養教育論」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 渡邊和美
<b>第 17 回</b> 【栄養教育論 5】 国家試験過去問の「栄養教育論」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 永原真奈見
<b>第 18 回</b> 【栄養教育論 6】 国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 永原真奈見
<b>第 19 回</b> 【臨床栄養学 6】 国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 渡邊和美
<b>第 20 回</b> 【公衆栄養学 5】 国家試験過去問の「公衆栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 坂田郁子
<b>第 21 回</b> 【公衆栄養学 6】 国家試験過去問の「公衆栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 坂田郁子
<b>第 22 回</b> 【給食経営管理論 4】 国家試験過去問の「給食経営管理論」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 永田純美
<b>第 23 回</b> 【給食経営管理論 5】 国家試験過去問の「給食経営管理論」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 永田純美
<b>第 24 回</b> 【栄養教育論 7】 国家試験過去問の「栄養教育論」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 永原真奈見
<b>第 25 回</b> 【臨床栄養学 7】 国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 渡邊和美
<b>第 26 回</b> 【臨床栄養学 8】 国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当 : 渡邊和美

第 27 回	<p>【臨床栄養学 9】</p> <p>国家試験過去問の「臨床栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。</p> <p>担当：渡邊和美</p>
第 28 回	<p>【公衆栄養学 7】</p> <p>国家試験過去問の「公衆栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。</p> <p>担当：坂田郁子</p>
第 29 回	<p>【給食経営管理論 6】</p> <p>国家試験過去問の「給食経営管理論」分野の出題傾向とポイントを解説する。</p> <p>担当：永田純美</p>
第 30 回	<p>【給食経営管理論 7】</p> <p>第 33 回国家試験「給食経営管理論」分野の出題傾向とポイントを解説する。</p> <p>担当：永田純美</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>各科目の教科書</li> <li>「レビューブック 管理栄養士」(株式会社メディックメディア)</li> </ul>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ol style="list-style-type: none"> <li>図書館に開架している各出版社の国家試験問題集、傾向と対策、全科の要点等 <ul style="list-style-type: none"> <li>「管理栄養士国家試験受験必修過去問集」(女子栄養大学出版部)</li> <li>クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説 (株式会社メディックメディア)</li> </ul> </li> <li>必要に応じて、プリント等を配布する。</li> </ol>
課題に対するフィードバックの方法	<p>授業の習熟度や課題（予習・復習）の評価のために、中間試験と定期試験を実施する。</p> <p>前期は中間試験を実施する。中間試験に合格することを後期の定期試験の受験要件とする。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>管理栄養士国家試験合格を目指し、以下の点に留意の上、管理栄養士演習の講義に臨んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>これまで学習した国家試験に関わる科目の復習を必須とする。</li> <li>前期終了までに 5 年分の過去問を 3 回解きなおしておく必要がある。</li> <li>国家試験合格を目指す者は、本科目受講のみの学習では不十分であるため、各担当教員が年間を通じて実施する分野ごとの補講に出席することが望ましい。</li> <li>試験は、前期中間試験と後期定期試験の 2 回とし、内容は国家試験に準ずる。試験の詳細は講義の中で説明する。</li> <li>国家試験合格を目指す者は、前期中間試験および後期本試験で 6 割を超えることが目安となる。</li> </ol>